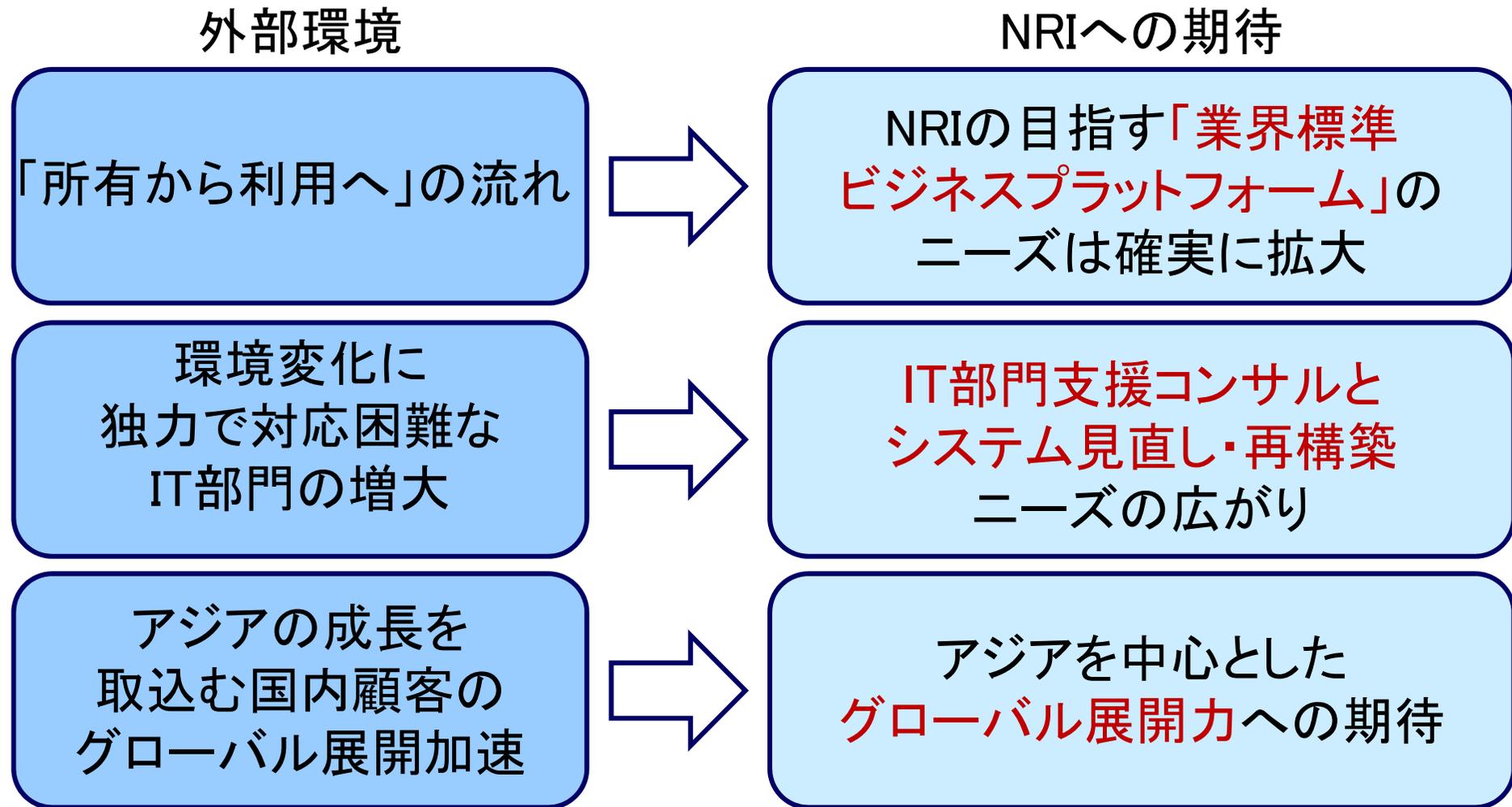

1. 2013年3月期決算について

2. 2014年3月期業績見通し

3. 中長期の成長に向けた重点施策

外部環境(中長期)

➤ 事業環境はNRIにとってフォロー



中長期の成長に向けて:ビジョン2015

成長力:7%成長を目指す
収益力:営業利益率13%以上
力強い事業ポートフォリオ

金融関連分野のサービス高度化

✓ 業界標準ビジネスプラットフォーム拡大

産業関連分野の拡大

✓ 得意分野で強みを活かして、顧客拡大

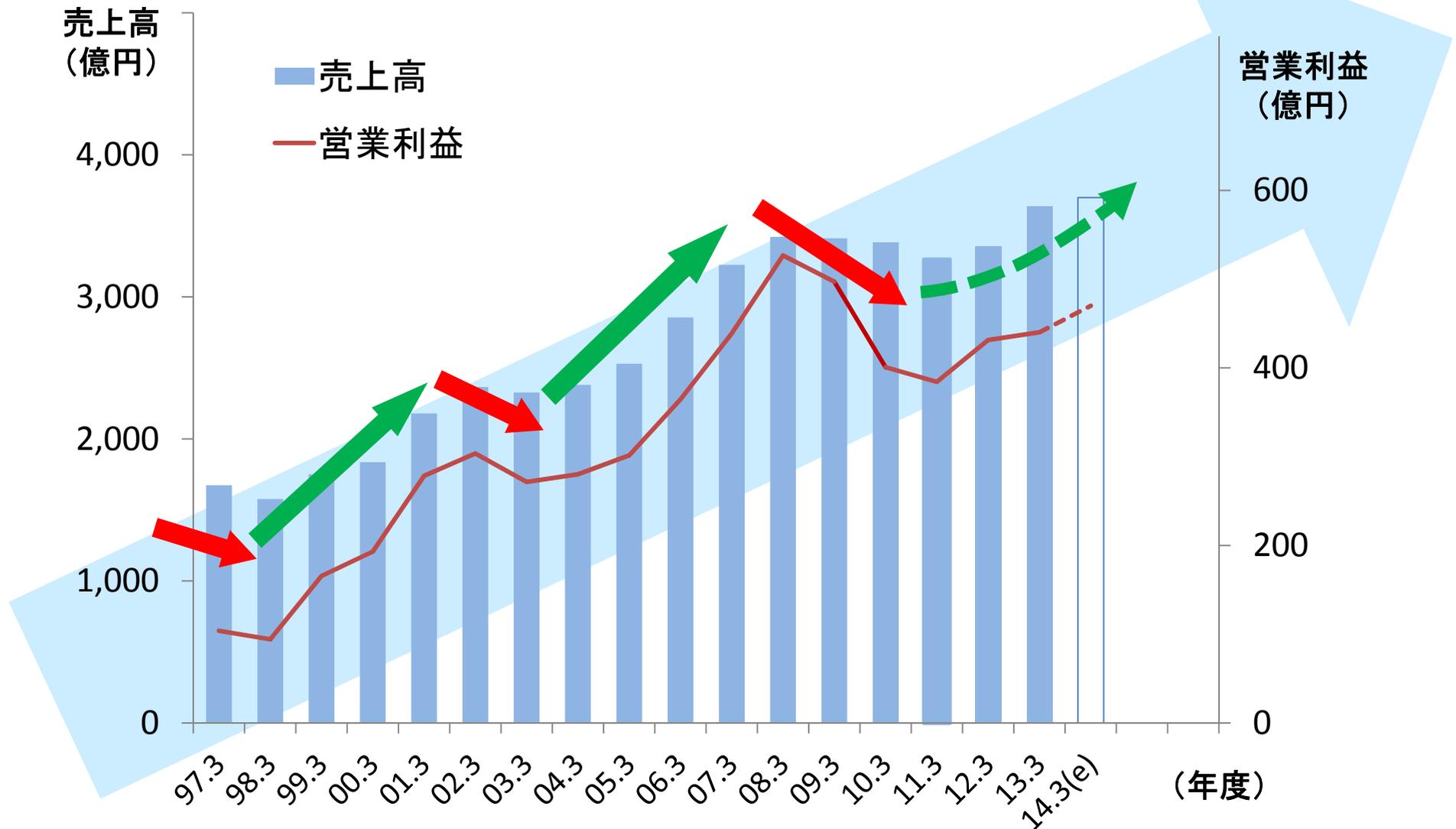
中国・アジア事業の強化・拡大

✓ 中国・アジアに「第二のNRI」を

生産革命・人材開発

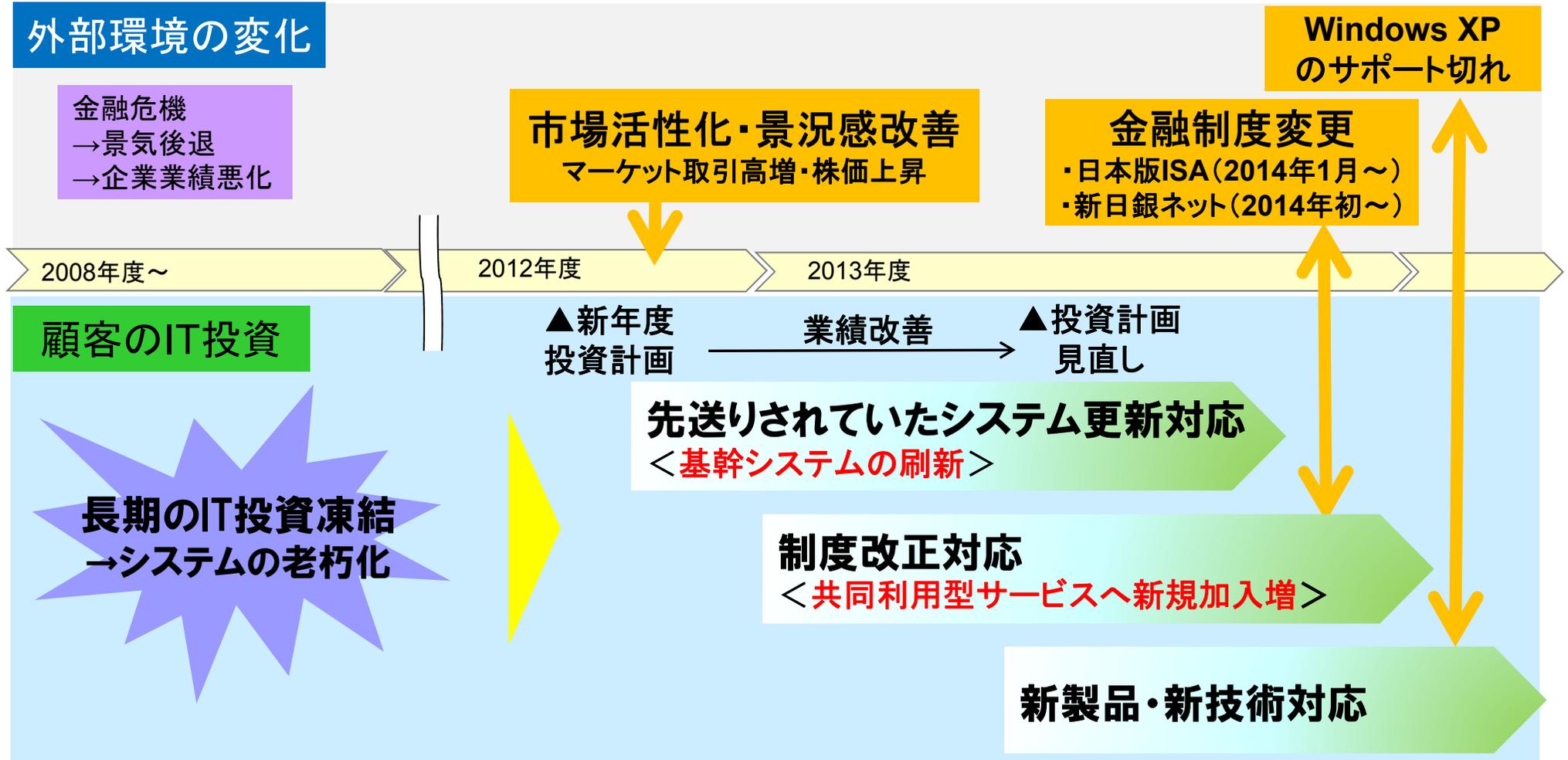
中長期の成長に向かって

● 中長期的「成長軌道」を確実なものに



外部環境(足元)

➤ **老朽化対応、金融制度改正への対応等、今後ソフトウェア投資改善が期待される**



外部環境(足元)

➤ 今年度は大型提案案件を多く見込む。確実に受注しプロジェクト遂行

引き合いの強さ(4月時点)

大型プロジェクト引き合いの例	
金融	<p>野村証券国内リテールシステム刷新の次のステップ 日本版ISA対応(STAR-IV, Bestway, 証券個社) ネットバンク勘定系システム更改 生保次期システム構築 保険向け基幹システム設計・開発 資産運用会社向け基盤更改</p> <p>基幹システム/ 基盤刷新</p> <p>制度対応</p>
産業	<p>アパレル基幹システム再構築 通信会社向けシステム</p> <p>基幹システム/ 基盤刷新</p>
基盤	<p>公共向け大規模ネットワークシステム</p> <p>基幹システム/ 基盤刷新</p>

ビジョン2015に向けた重点施策の推進

重点施策の例

コンサルティング	●大型顧客拡大、海外・業務コンサル、IT部門構造改革等
金融ITソリューション	●野村証券の国内システム刷新プロジェクト対応(STAR後)
	●業界標準ビジネスプラットフォームの事業領域拡大
産業ITソリューション	●産業分野の顧客基盤拡大
グローバル	●日系顧客SI案件拡大、グローバルSCM事業拡大等
システム基盤	●T1DCの活用を含めたシステム基盤競争力強化

コンサルティング

大型顧客拡大、海外・業務コンサル、IT部門構造改革等

- **アジアNo1コンサルティングファームを目指し大型顧客資産の拡大**
- **業務コンサルやIT部門構造改革を通じて、ITソリューション顧客候補との関係構築も目指す**

国内大型顧客資産の拡大

- 大型顧客拡大のために顧客接点を強化
- 全社構造改革の構想作りからその後の実行支援まで目指す

アジア顧客の拡大のための基盤づくり

- 東京拠点と連携しグローバル案件の戦略受注
- 海外ネットワーク(拠点)の拡充・マネジメント体制強化

業務(×IT)コンサル拡大

- 業務システムの構想・改革
(営業・チャネル改革、CRM、グローバル経営基盤統合(BI)、SCM・調達支援 等)

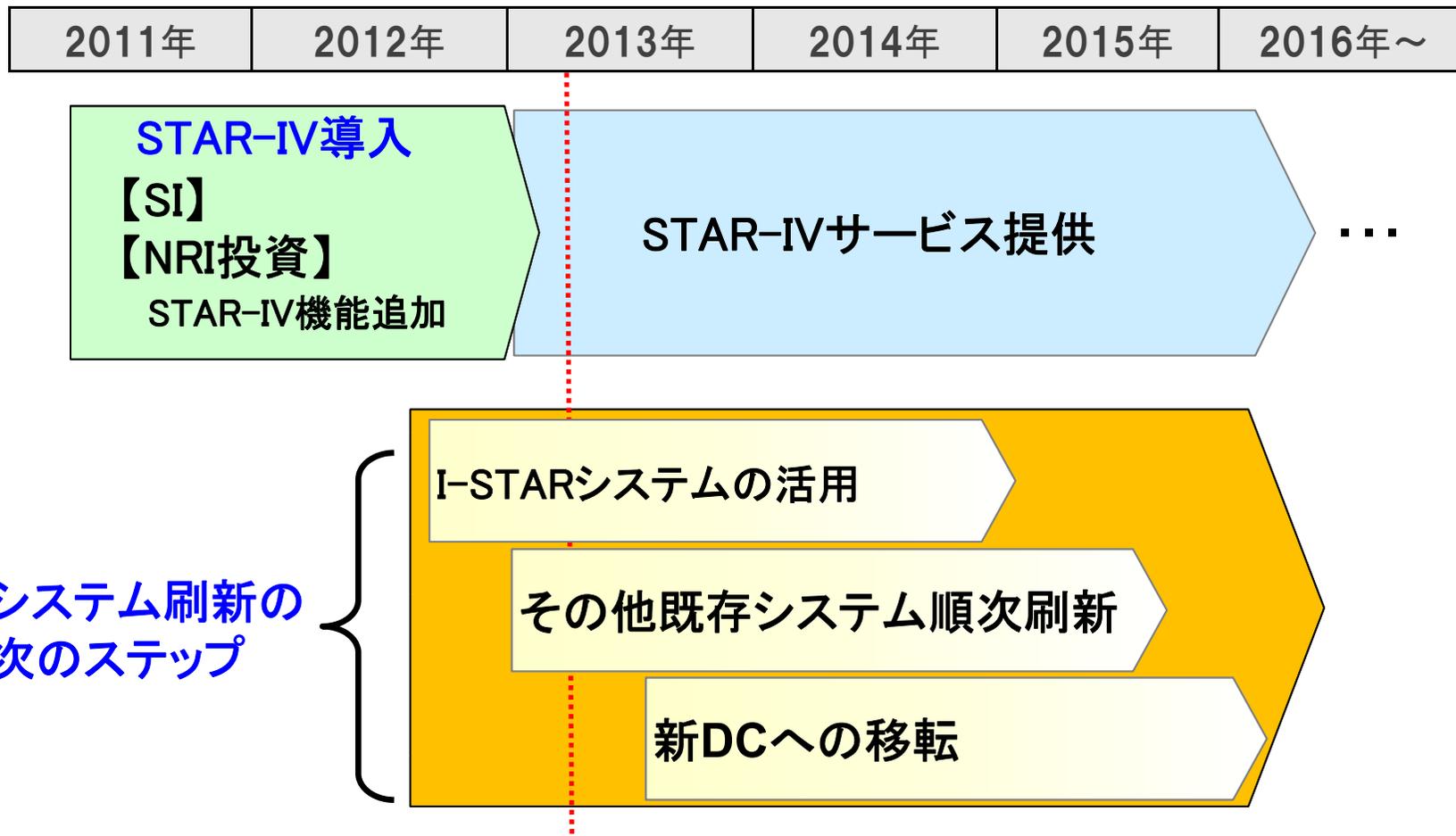
IT部門構造改革(PMO)

- IT部門構造改革の計画策定・実行支援
- 情報子会社の成長戦略の策定支援
- ITベンダー等との関係再設計支援

金融ITソリューション

野村証券の国内システム刷新プロジェクト

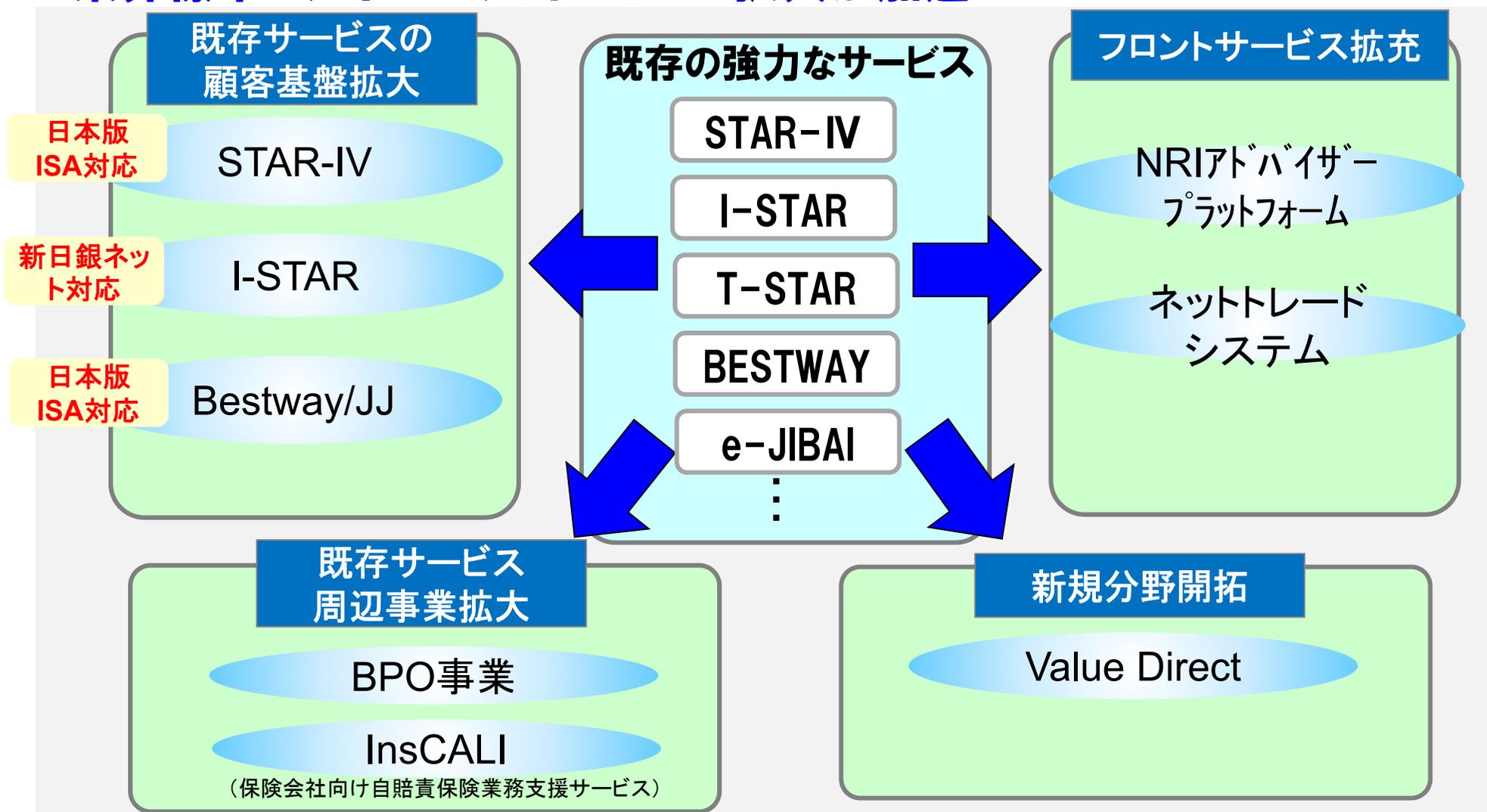
- 国内システム刷新に向けたSTAR-IV導入後のステップがスタート
- 今年度も高い水準で案件が継続



金融ITソリューション 業界標準ビジネスプラットフォームの事業領域拡大

コンサルティング
金融ITソリューション
産業ITソリューション
グローバル
システム基盤

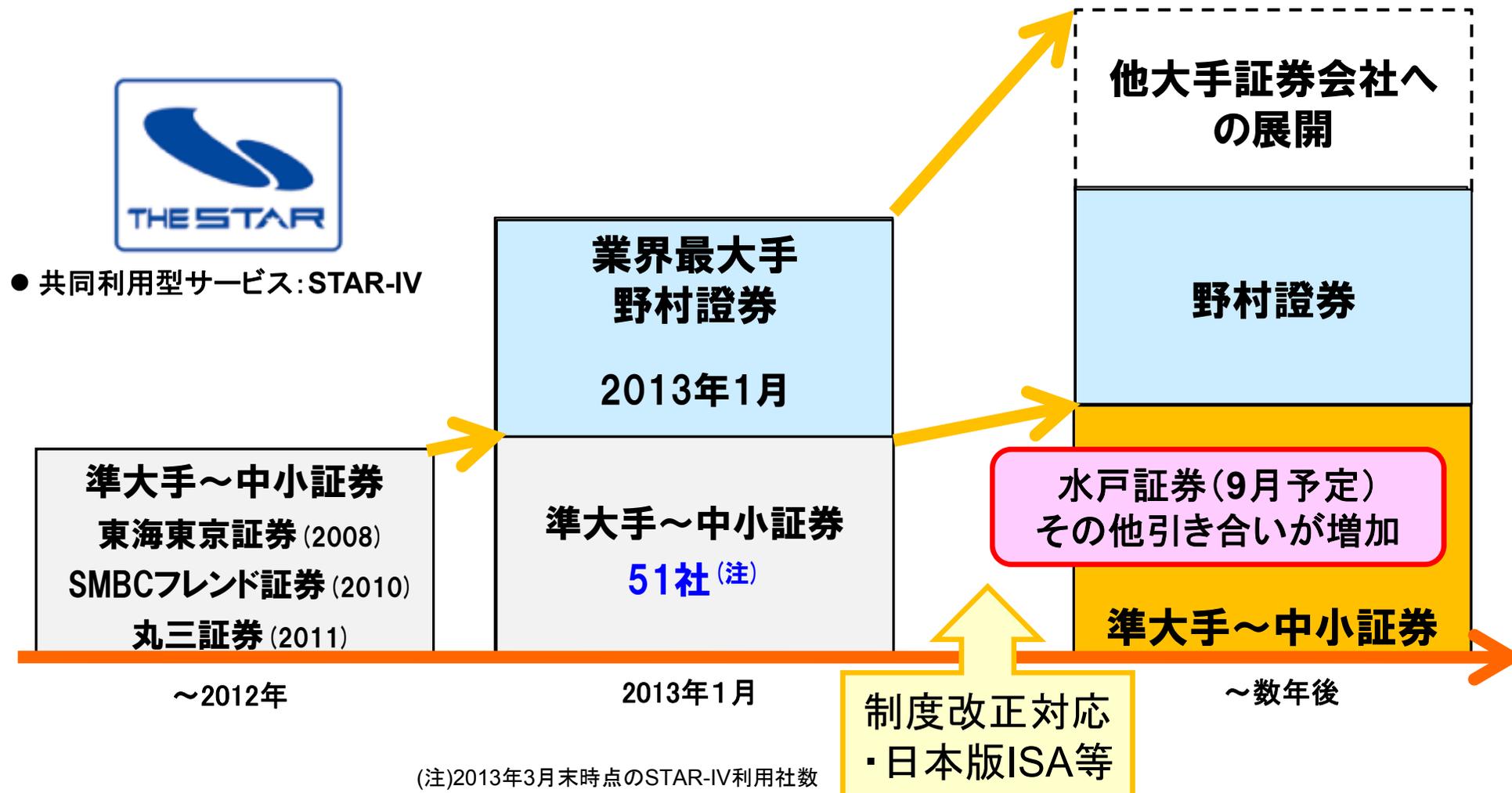
■業界標準ビジネスプラットフォーム拡大が加速



金融ITソリューション (例:証券)STAR-IVの事業展開

コンサルティング
金融ITソリューション
産業ITソリューション
グローバル
システム基盤

➤ 日本版ISA等の大規模制度変更対応等で引き合いが増加



金融ITソリューション (例: 保険) 保険分野での共同利用型サービスの拡大

コンサルティング
金融ITソリューション
産業ITソリューション
グローバル
システム基盤

➤ 保険会社向け自賠責保険の共同利用型サービス「InsCALI」提供開始

- 2社でサービス開始



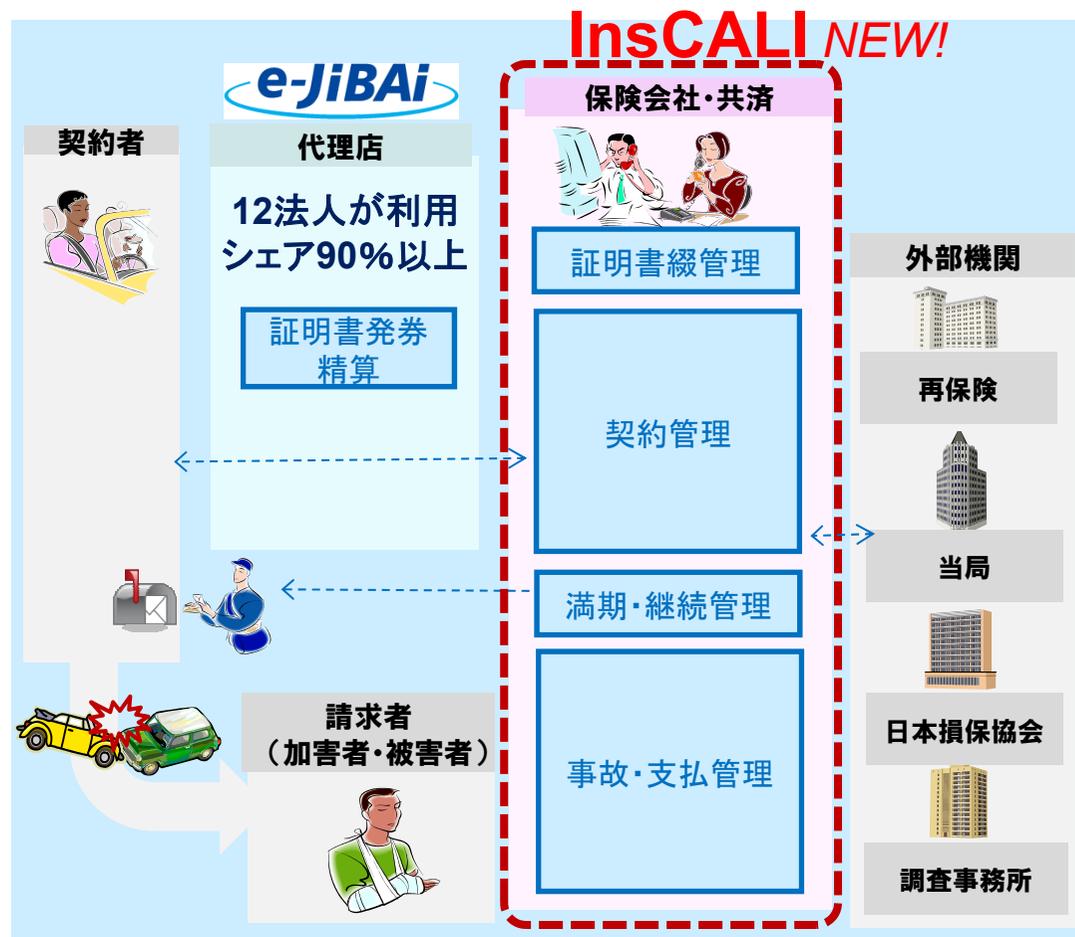
ASAHI FIRE & MARINE INSURANCE

信頼される安心を、社会へ。



セコム損害保険株式会社

InsCALIのサービス提供開始



(注)e-JIBAI: 自賠責保険共同代理店システム

金融ITソリューション

(例:銀行)バンキング分野でのソリューション拡大

- インターネットバンキングサービス「Value Direct」の顧客拡大
- Bestway/JJのメガバンク系への移行推進

Value Direct

インターネットバンキングサービス

導入決定企業 12社 (注1)

うち7社で稼働 (注1)2013年4月時点

制度改正対応
・日本版ISA等

勘定系への取組

ユニシスと協業(オープン勘定系システム「BANKSTAR®」等)を活用

(注2)

(注2) 日本ユニシスの登録商標

Bestway JJ

投資信託の窓販業務ソリューション

メガバンクへの移行・導入立ち上げ

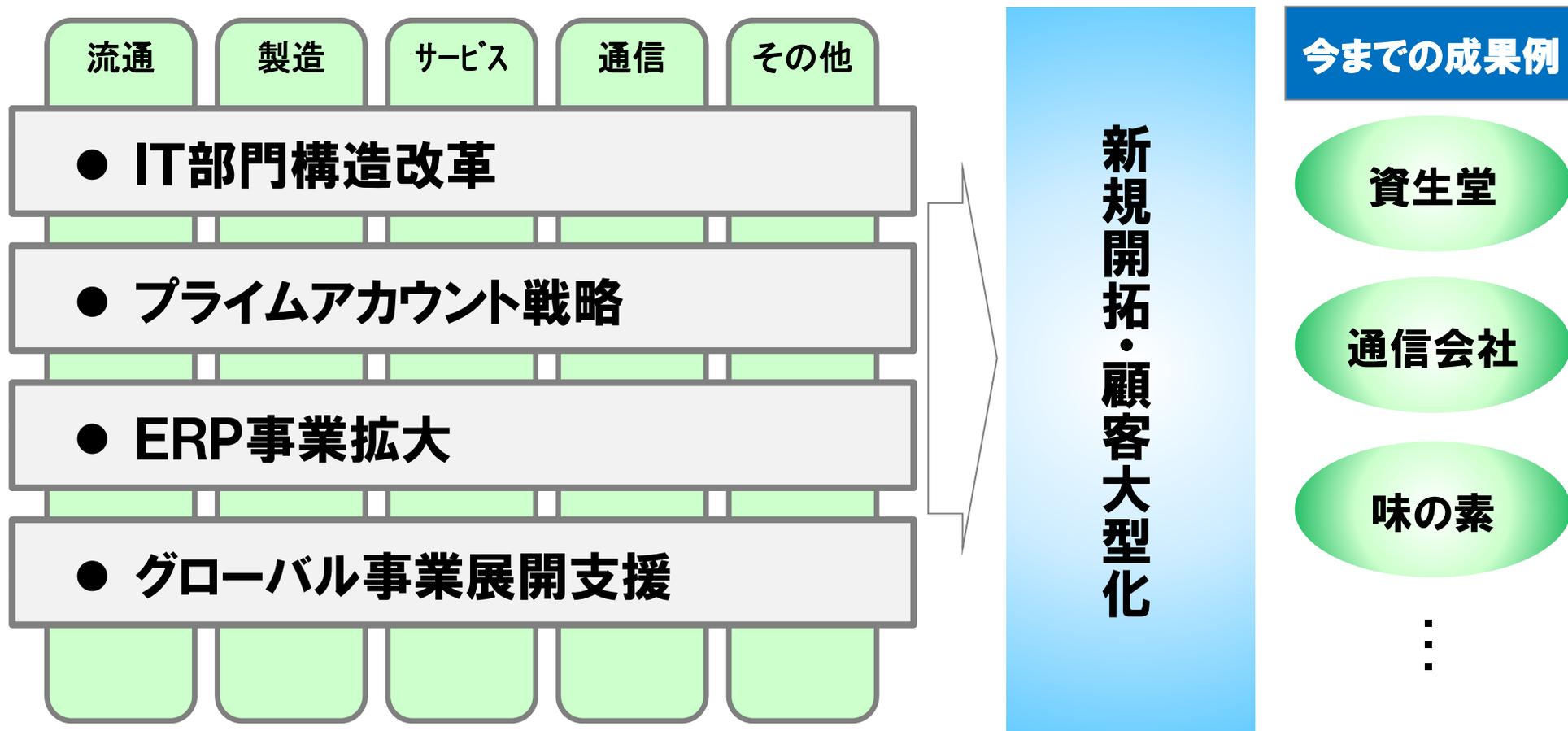
導入企業は107社 (注3)

(注3) 2013年3月末

産業ITソリューション 産業分野における顧客基盤拡大

コンサルティング
金融ITソリューション
産業ITソリューション
グローバル
システム基盤

➤ 選択と集中による重点顧客の新規開拓・顧客大型化



グローバルへの取り組み 中国・アジアを中心とした事業の強化・拡大

コンサルティング
金融ITソリューション
産業ITソリューション
グローバル
システム基盤

【コンサルティング事業】

- 現地安定顧客基盤作りのために、東京と連携し案件を戦略受注する
 - 日本での長年の経験が差別化になる領域での事業展開
例)自動車、通信、地域・都市計画等
- 海外拠点の強化・拡充
 - 中国(上海)、インド、タイ等

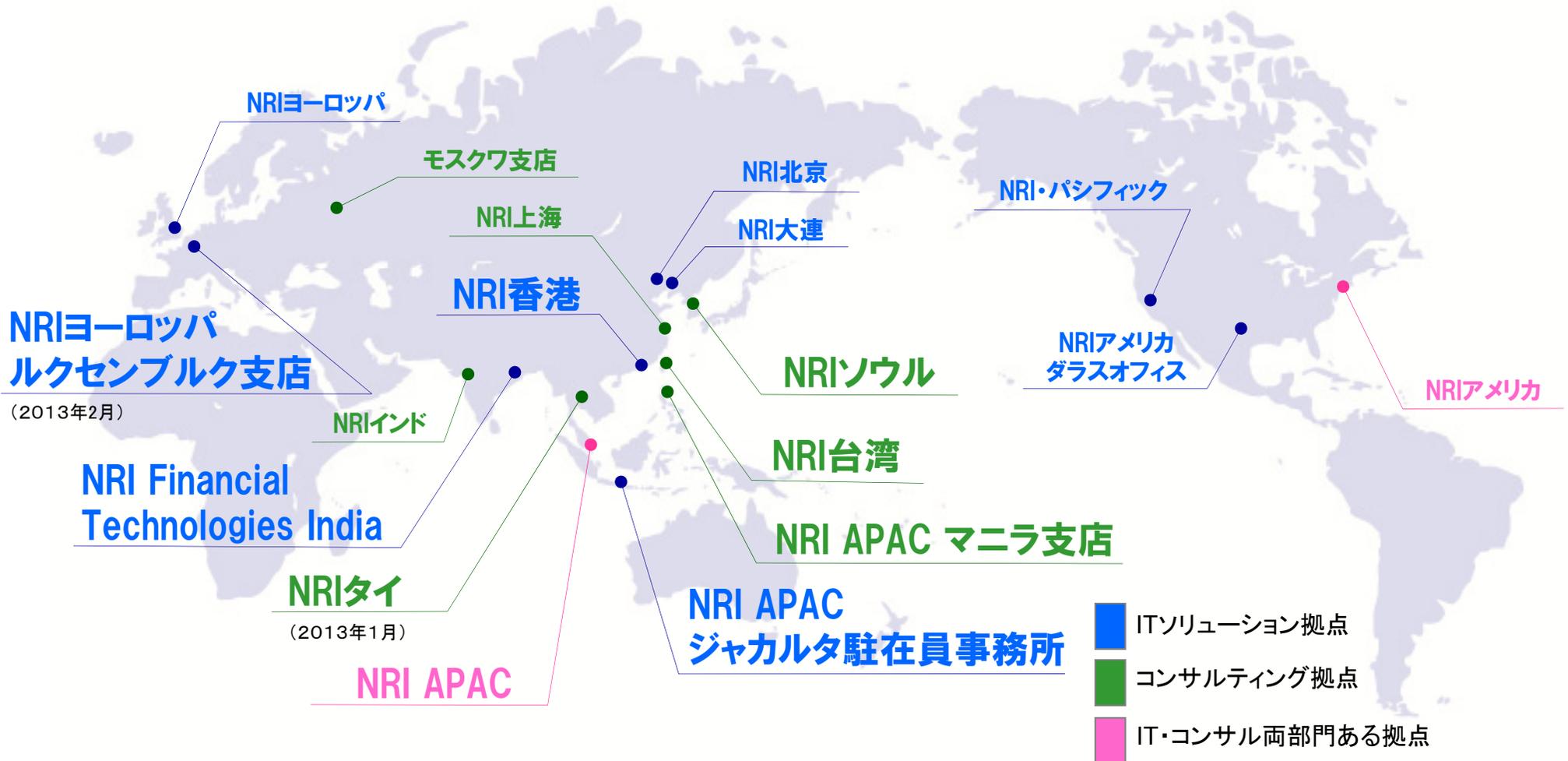
【ITソリューション事業】 日系企業の進出支援中心

- セブン&アイ関連の海外展開をサポート
 - 中国(北京、成都、等)
 - インドネシア
 - 北米 等
- グローバルSCMソリューションの提供
 - 約66社、122拠点(15カ国)へ導入
- 三菱商事との合弁事業(iVision社): 上海
- BPO事業の強化: NRI大連
- オフショア開発: NRI FT India
- 資産運用関連(I-STAR/GV等)

グローバルへの取り組み 中国・アジアを中心とした海外拠点の拡充

コンサルティング
金融ITソリューション
産業ITソリューション
グローバル
システム基盤

➤ 拠点再編・拡充のペースがアップ



システム基盤 基盤競争力強化～T1DCの活用

コンサルティング
金融ITソリューション
産業ITソリューション
グローバル
システム基盤

- 東京第一データセンターの引き合いは順調
- BCP/DRの需要増加に対応するため、関西地区に新データセンターを計画中

関東地区



東京第一データセンター

2012年11月開業

延床面積: 38,820 m²
受電能力: 約4万KVA



日吉データセンター

竣工: 1985年

延床面積: 20,820 m²
受電能力: 約1万KVA



横浜第一データセンター

竣工: 1990年

延床面積: 20,480 m²
受電能力: 約1万KVA



横浜第二データセンター

竣工: 2007年

延床面積: 15,888 m²
受電能力: 約1.5万KVA

関西地区

関西地区新DC (予定)

大阪府北摂地域(土地取得完了)



大阪データセンター

竣工: 1992年

延床面積: 18,695 m²
受電能力: 約1万KVA

システム基盤

基盤コスト競争力強化 ～金融クラウドの推進

- 東京第一データセンターに「NRI金融クラウド」の構築を推進
- 共同利用型サービスのIT基盤のクラウド化によるコスト効率化
- より低コストでのDR対策も可能に

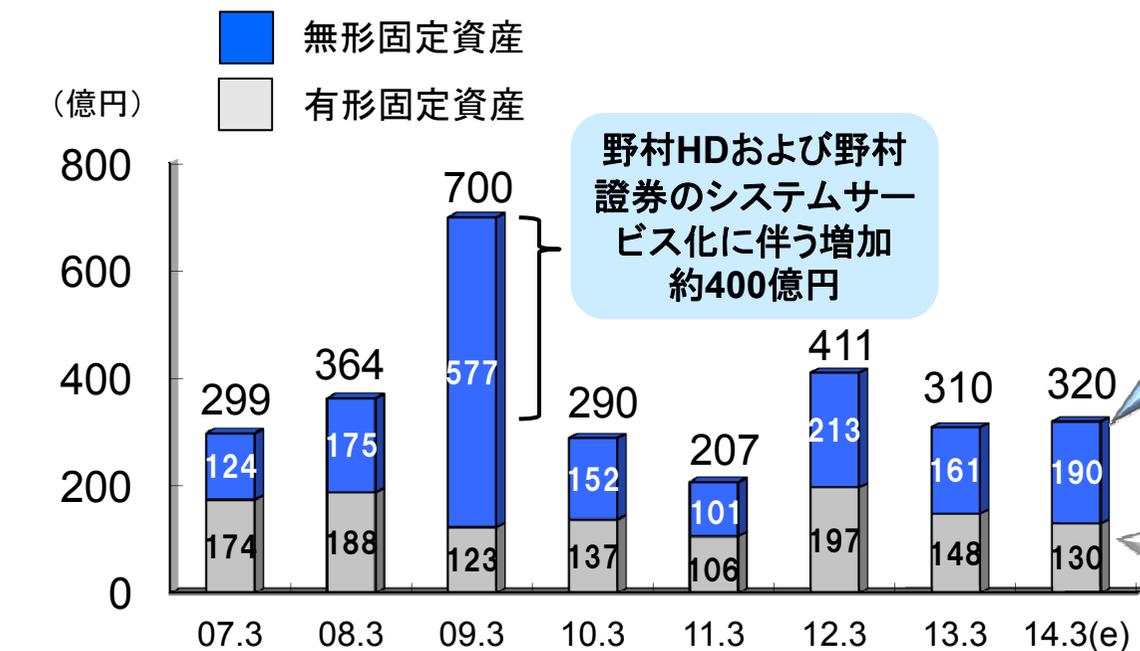
NRI金融クラウド概要



設備投資

➤ 設備投資は320億円を見込む

設備投資額の推移



無形固定資産への投資

- 金融制度変更対応のための共同利用型サービスへの投資 等

有形固定資産への投資

- 金融クラウド構築
- データセンター関連設備の更新等

減価償却費	197	165	207	309	306	308	424	330
-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

-
- ・本資料は、2013年3月期決算の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではなく、また何らかの保証・約束をするものではありません。
本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。
 - ・本資料のいかなる部分も一切の権利は野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。
 - ・業績予想に関する参考値は当社の現状及び見通しをご理解いただくために目安となる値を表示したものです。なお、新たな情報や何らかの現象が生じた場合において、当社が業績見通し等を常に見直すとは限りません。